

令和2年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針			1 ごはんを中心とした食生活の改善						
ガイ ド ラ イ ン 項 目			(1) ごはんを中心とした食生活の推進に関する事項						
ガイ ド ラ イ ン	・ 朝食を欠食する子どもの減少を目指す ・ 肥満傾向の子どもの減少を目指す				実績			評 価	
					・ 朝食を欠食する子ども「食生活状況等調査」 H13:11.3% H25:8.5%→H29:9.6% 1.1ポイント増 ・ 肥満傾向の子ども「肥満状況調査」 H15:16.7% H25:11.7%→H29:10.4% 1.3ポイント減 ・ 乳幼児健診や成人式等で、朝ごはん運動の推進啓発活動を実施した。			本部会議	
								事務局会議	
								b	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実施目標等	令和2年度		令和3年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	朝食欠食状況の調査	食生活状況等調査 （3歳～15歳）	1回/5年	0	5年毎実施	0	5年毎実施（次回R4）	健康保険課 教育委員会
	②	肥満状況の調査	肥満状況調査 （3歳～15歳）	1回/5年	0	5年毎実施	0	5年毎実施（次回R4）	
	③	朝ごはん運動の推進 啓発活動	乳幼児健診等で実施	随時	24	36回326人	25	随時	健康保険課
			成人式などの開催時 にパンフレット等を 配布		0	※新型コロナウイルス感染症 対策により成人式、実年式は 中止。ただし、成人式記念品 送付時にパンフレットを同封 した。	0	1/3成人式、2/11実年式にて 配布予定。	教育委員会
計				24		25			

令和2年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針			1 ごはんを中心とした食生活の改善						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(2) 家庭での食に対する理解の促進に関する事項						
ガ イ ド ラ イ ン	・ 1日当たりの塩分摂取量の減少を目指す ・ 食卓に増やそう野菜減らそう塩分運動を推進				実 績				評 価
					・ 塩分摂取量「尿中塩分検査」 H15:13.2g H25:12.6g → R2:11.3g 1.3g減 ・ 例年、食卓に増やそう野菜減らそう塩分をスローガンに、調理実習やつるりん鍋等を実施しているが、新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度は中止とした。				本部会議
									事務局会議
									b
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実施目標等	令和2年度		令和3年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	尿中塩分検査	総合健診時に実施	年1回	320	1回1,451人	341	1回	健康保険課
	②	健康食試食	いのちのまつりで実施	年2回	0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	60	2回	健康保険課
	③	離乳食教室	乳児健診等で実施	月1回	10	23回102人	10	月1回	健康保険課
	④	総合健診時の朝食提供	総合健診時に実施	年3回	0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	54	3回	健康保険課
	⑤	野菜を多く使った調理実習	総合健診受診者を対象に実施	年2回	0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	12	1回	健康保険課
	⑥	対象者別調理実習	対象者に合わせて実施	年5回	0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	60	5回	健康保険課
	⑦	「つるりん鍋」の試食	いのちのまつりで実施	年1回	0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	330	1回	健康保険課
計				330		867			

令和2年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針				1 ごはんを中心とした食生活の改善					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目				(3) 安全な食品を選択するために必要な正しい知識の習得の支援に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・ 食生活と栄養に関する学習を実施 ・ 安全な食品に対する情報を提供			実績				評 価	
				・ 例年、いのちのまつり等で、食生活と栄養に関する学習会を実施し、調理実習等で、安全な食品に対する情報を提供しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、中止とした。				本部会議	
								事務局会議	
								e	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実施目標等	令和2年度		令和3年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	食生活と栄養に関する学習	いのちのまつり等で実施	年2回	0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	10	2回	健康保険課
	②	安全な食品に対する情報提供	調理実習等で実施	随時	0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	10	随時	健康保険課
	計				0		20		

令和2年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針			2 早寝、早起き運動の推進						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(1)規則正しい生活習慣の促進に関する事項						
ガ イ ド ラ イ ン	・ 適量の飲酒 ・ 年齢や健康状態に応じた運動習慣を目指す ・ 喫煙者の減少を目指す ・ 1年に1回は健康診査の受診を目指す ・ 十分な休養と睡眠を取りストレスの軽減を目指す ※純アルコール量g＝飲酒量ml×度数%×比重0.8			実績				評 価	
				・ 純アルコール60g以上の多量飲酒者 H25:8.5%→R2:10.0% 1.5ポイント増 ・ 30分以上の運動習慣あり H25:15.6%→R2:24.6% 9.0ポイント増 ・ 喫煙者 H25:21.0%→R2:19.4% 1.6ポイント減 ・ 特定健診受診者 H25:43.3%→R2:44.4% 1.1ポイント増 ・ 睡眠で休養を十分取れていない H25:26.2%→R2:24.3% 1.9ポイント減 ・ 規則正しい生活習慣を促進するため、各種事業を実施した。				本部会議	
								事務局会議	
								a	
実 計	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実施目標等	令和2年度		令和3年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	健康診査	総合健診等を実施	年27回	43,009	27回 3,310人	49,077	27回	健康保険課
	②	健診受診勧奨	電話、訪問、通知等により実施	随時	1,094	1,861人	3,666	随時	健康保険課
	③	健診結果説明会	健診結果の説明と保健指導を実施	年19回	136	8回141人	136	7回	健康保険課
	④	がん検診精密検査料自己負担額補助金	各種がん検診要精密検査料の一部を補助（限度額8,000円）	随時	1,134	230人	1,495	随時	健康保険課
	⑤	生活習慣病予防学習会	総合健診、健康体操教室等で実施	随時	18	26回454人	99	随時	健康保険課
	⑥	地域体験活動事業	小・中学生を対象に社会教育施設（屋外）等で宿泊研修と体験学習を実施。	年1回実施 参加目標者数30人	0	※新型コロナウイルス感染症対策により中止。	183	小・中学生を対象に社会教育施設（屋外）等で宿泊研修を開催し、体験学習を実施する予定。開催期日及び開催場所は未定。	教育委員会
⑦	鶴の架け橋交流事業	鹿児島県さつま町との交流事業。両町児童生徒らによる宿泊研修と体験学習を実施。	不定期開催 参加目標数30人	0	12月下旬、鹿児島県さつま町の児童生徒が来町し、当町児童生徒と宿泊交流研修を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策により中止。	0	鹿児島県さつま町の児童生徒が来町し、当町児童生徒と宿泊交流研修を計画している。日程等の事業内容が確定後、予算計上する。（H28年度実績777千円）	教育委員会	

令和2年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

画	⑧	朝の10分間読書	町内小中学校で実施	毎日実施	1,000	毎日	1,000	毎日	教育委員会
	⑨	鶴田町学校保健会講習会	保健に関する講習会 小中学校教職員対象	年4回実施	0	調査活動（町内小・ 中学校かぜ状況調 査）12～3月実施 養護教諭会 1回開 催（県、紙面開催）	0	調査活動（町内小・中学校か ぜ状況調査）12～3月実施 （北五学校保健会、西北五合 同学校保健研究大会）	教育委員会
	計				46,391		55,656		

令和2年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針			2 早寝、早起き運動の推進						
ガイ ド ラ イ ン 項 目			(2) 就寝及び起床の標準時間に関する事項						
ガ イ ド ラ イ ン	・ 幼児 起床は6時30分まで、就寝は21時までを目指す ・ 小学校低学年 起床は6時30分まで、就寝は21時までを目指す ・ 小学校高学年 起床は6時30分まで、就寝は22時までを目指す ・ 中学校 起床は6時30分まで、就寝は23時までを目指す			実績			評 価		
				・ 子どもの起床と就寝「食生活状況等調査」 幼児 起床6時30分まで H25:34.2%→H29:32.9% 1.3減 就寝21時まで H25:11.7%→H29:16.7% 5.0増 小学校低学年 起床6時30分まで H25:65.5%→H29:59.7% 5.8減 就寝21時まで H25:13.4%→H29:12.9% 0.5減 小学校高学年 起床6時30分まで H25:60.4%→H29:63.5% 3.1増 就寝22時まで H25:53.5%→H29:56.3% 2.8増 中学校 起床6時30分まで H25:32.5%→H29:36.5% 4.0増 就寝23時まで H25:46.0%→H29:48.1% 2.1増 ・ 乳幼児健診や小中学校等で早寝早起き運動推進啓発活動を実施した。			本部会議		
							事務局会議		
							a		
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実施目標等	令和2年度		令和3年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	起床、就寝時間の調査	食生活状況等調査（3歳～15歳）	1回/5年	0	5年毎実施	0	5年毎実施（次回R4）	健康保険課 教育委員会
	②	適正な生活リズム定着への支援	乳幼児健診等で実施	随時	10	36回326人	10	随時	健康保険課
	③	早寝、早起き運動の実施	チラシ等による啓発	年 6 回実施	0	ほけんだより等で年6回周知。	0	ほけんだよりで周知	教育委員会
			各小中校の校長、養護教諭、学校職員による児童、生徒への周知	随時実施	0	長期休暇前のほけんだより等で周知の他、保護者アンケート、授業等で指導した。	0	ほけんだよりで周知	
計				10		10			

令和2年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基本方針		3 安全及び安心な農産物の供給						
ガイドライン項目		(1) 農薬等の適正な使用及び管理の徹底に関する事項						
ガイドライン	・食用作物等への農薬使用について、農薬登録時に定められた基準である適用作物の単位当たり使用量、希釈倍数、使用時期、使用総回数を順守し安全・安心な産地づくりを推進する				実績		評価	
					農薬取締法の農薬使用基準について研修会を開催し、農薬の特性、薬剤の選択、散布時期などについての周知徹底が図られた。 また、残留農薬のポジティブリスト制度について、農薬の飛散（ドリフト）防止技術の向上が図られた。		本部会議	
							事務局会議	
							a	
実施計画	事務事業名		事務事業内容	実施目標等	令和2年度		令和3年度	
					決算額（千円）	実績等	予算額（千円）	計画・進捗状況等
	①	農薬使用技術講習会開催	農事振興会及び防除組合等を対象に農薬使用技術講習会を開催し、農薬使用基準の遵守を図る	年6回開催	0	水稻現地講習会 2回（町農業支援センター） 農薬使用現地講習会 4回（町共防連）	0	【予定】 水稻現地講習会 2回 農薬使用現地講習会4回
	②	ポジティブリスト制度の啓発活動	農薬使用基準等や飛散防止に係わる情報の提供	年9回配布	173	ドリフト注意喚起チラシ 1回配布 農事普及だより 8回配布	185	【予定】 ドリフト注意喚起チラシ 1回配布 農事普及だより 8回配布
計					173		185	
※ ポジティブリスト … すべての食品について、農薬などすべての化学物質の基準を定め、超えると出荷を停止する制度。 ※ ドリフト…農薬の使用におけるドリフトとは、散布された農薬が目的外の作物に付着してしまう現象。								

令和2年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針				3 安全及び安心な農産物の供給					
ガイ ド ラ イ ン 項 目				(2) 農産物の生産履歴の記帳に関する事項					
ガイ ド ラ イ ン	・ 生産履歴の記帳や食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保する取り組みを支援する。 ・ 消費者の求める表示内容の正確性、信頼性に対応するため生産者は農産物の安全性をアピールし、付加価値を付ける			実績			評 価		
				各種農産物の現地講習会において、JA等が確実な生産履歴記帳の指導を行った。 年毎のG A P 認証取得支援策を継続し、農産物の安全性と消費者への信頼性確保が図られた。			本部会議		
							事務局会議		
							b		
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実施目標等	令和2年度		令和3年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	農産物の生産履歴記帳	JA等、出荷機関との連携及び指導	随時	0	各種講習会、研修会時において随時指導	0	各種講習会、研修会時において随時指導	産業課
	②	G A P の推進	認証取得費用への一部支援等	認証取得1件	59	認証取得 J G A P 1件	310	認証取得予定件数 J G A P 1件	産業課
	計				59		310		
※ G A P（ギャップ）・・・ 「品質」「安全性」「環境への配慮」などの一定基準を満たした農作物に認められる規格。									

令和2年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針				3 安全及び安心な農産物の供給					
ガイ ド ラ イ ン 項 目				(3) 食品表示の適正化の推進に関する事項					
ガイ ド ラ イ ン	・日本農林規格等に関する法律（改正ＪＡＳ法）のもと有機農産物及び有機農産物加工食品のＪＡＳ規格について、生産方法及び表示を明確化することにより信頼性を確保し、農産物等の価値を正に評価される活動を展開する			実績			評 価		
				消費者への信頼性確保のため、ＪＡＳ法及び食品衛生法に基づく食品表示等について、研修会などをとおして理解を深めた。			本部会議		
							事務局会議		
							a		
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実施目標等	令和2年度		令和3年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	J A S 法及び食品衛生法に基づく食品表示に関する講習会	各種食品表示に関する講習会へ参加や実施	1回	0	産直友の会による勉強会 1 回開催	0	【予定】 産直友の会による勉強会 1 回（※通常総会開催時に勉強会実施しているが、今年度は書面のみで実施）	産業課
	計				0		0		

令和2年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針				3 安全及び安心な農産物の供給					
ガイ ド ラ イ ン 項 目				(4)環境にやさしい安全及び安心な農産物の生産体制の強化に関する事項					
ガイ ド ラ イ ン	・地球温暖化防止や生物多様化保全に効果の高い営農活動 に取り組む農業者を育成する ・土づくりの実践、化学肥料・化学農薬の使用低減を推奨 し、持続性の高い農業生産方式の導入を推進する			実績				評 価	
				環境に優しい営農活動に取り組む農業者に対し、補助事業の活用や制 度の周知等の支援を行った。 稲わらを有効活用する取組として結束わらの稲わらふりーでんやロー ルわらのフリーマーケットを実施した。				本部会議	
								事務局会議	
								a	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実施目標等	令和2年度		令和3年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	環境保全型農業推進 事業	地球温暖化防止や生 物多様性保全に効果 の高い営農活動を支 援	目標件数：1 法人	877	事業実施者 1法人	1,100	事業実施予定者 1法人	産業課
	②	日本一健康な土づく り実践事業	土づくり等の環境保 全農業活動の促進	チラシ配布： 年1回	0	稲わら有効活用啓発 チラシ配布 1回 【参考】 稲わらふりーでん実 施面積 1.05ha ロールわらフリー マーケット販売重量 25 t	0	【予定】 稲わら有効活用啓発チラシ 1回配布	産業課
	計				877		1,100		

令和2年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針				3 安全及び安心な農産物の供給					
ガイ ド ラ イ ン 項 目				(5) 食品の安全及び安心に係る消費者への情報提供に関する事項					
ガイ ド ラ イ ン	・消費者の求める安全で安心な農産物の供給に当たり、科学的根拠に基づいた安全性を保証する情報を積極的に発信し、消費者の安心と信頼を確保する			実績			評 価		
				町および県内で実施した農林水産物に係る放射性物質測定結果についての情報を提供した。			本部会議		
							事務局会議		
									a
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実施目標等	令和2年度		令和3年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	食品の安全及び安心に係る情報提供	チラシやパンフレットなどによる農産物の安全・安心の周知活動	随時	0	周知チラシを11月に配布	0	周知チラシを11月に配布	産業課
	②	食品の安全及び安心に係る信頼性確保	県で実施している放射能検査の手続代行に関すること及びモニタリング調査結果のチラシ配布	年1回	0	周知チラシを9月に配布 【検査実績】 米、りんご各1件	0	【予定】 周知チラシを9月に配布	産業課
	計				0		0		

令和2年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針			4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進						
ガイ ド ラ イ ン 項 目			(1) 地産地消の推進体制の整備に関する事項						
ガイ ド ラ イ ン	・ 各種農業団体と連携し地場産品の生産振興及び消費拡大を図る ・ 地場産品等の生産振興及び加工品の開発を図る			実績			評 価		
				果樹・野菜の生産拡大・定着が図られたが、町民文化祭は、新型コロナウイルス感染症対策により中止。			本部会議		
							事務局会議		
							a		
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実施目標等	令和2年度		令和3年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	地場産品の生産振興の推進	町振興作物の拡大と定着を図る	補助対象面積50a以上	388	リンゴ116.31a ブドウ（シャインマスカット）14.28a 野菜（ナス、カブチャ、アスパラガス）11.86a ※国事業4,979千円（リンゴ）	1,253	【作付面積50a以上】	産業課
	②	地場産品の消費拡大	各種イベントを通して消費拡大を図る	年2回	0	年1回開催（スチューベン祭り） ※町民文化祭（中止）	0	年2回開催	産業課
	計				388		1,253		

令和2年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針				4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進					
ガイ ド ラ イ ン 項 目				(2)町民による鶴田町において生産された農産物（以下「地場産品」という。）の積極的使用に関する事項					
ガイ ド ラ イ ン	・ 農家やＪＡ等が提供・販売可能な地場産品を把握し、学校給食をはじめ、各種イベントや料理教室などで優先的に使用し、地域内消費の拡大に努める			実績				評 価	
				当町産の大豆加工品について、あるじゃ店頭販売をし、当町産米について、学校給食用で消費が図られた。				本部会議	
								事務局会議	
								C	
実 施 計	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実施目標等	令和2年度		令和3年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	当町産米の積極的活用と消費拡大	学校給食やあるじゃ加工施設で活用し消費拡大を図る	使用量：15,000kg	0	学校給食使用量：9,057kg あるじゃ使用量：600kg	0	使用量：10,000kg	産業課
	②	転作作物として生産された大豆加工品の消費拡大	当町産の大豆をあるじゃ加工施設で商品化し消費拡大を図る	大豆7,500kgを豆腐、テンペ等に加工・販売	0	加工量： 5,130kg 内訳 学校給食 豆腐 味噌 ソフトクリーム シェーク	0	学校給食、豆腐、味噌、ソフトクリーム、シェークに加工販売 加工量：5,500kg	産業課
③	各料理教室の開催	町における料理教室	年12回開催（教養講座）	24	9月～10月まで3回で延べ27人参加。※新型コロナウイルス感染症対策により5月～8月までと11月分を中止。	112	7月～12月まで開催予定。	教育委員会	

令和2年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

画	③	各料理教室の開催	町における料理教室	年1回開催 (農家女性いきいき講座)	0	農家女性いきいき講座 ※新型コロナウイルス感染症対策により中止	25	農家女性いきいき講座 1回開催予定(12～2月頃)	産業課
	計				24		137		

令和2年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針			4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進						
ガイ ド ラ イ ン 項 目			(3) 地場産品を使用した学校給食の推進に関する事項						
ガイ ド ラ イ ン	・安全で安心な地場産品を使用した学校給食を提供するための生産・流通体制の整備を目指す			実績			評 価		
				令和２年度に学校給食に使用した地場産品は、米・野菜・果実等17品目で、鶴田産16.4％(R1:15.9％)、青森県産50.2％(R1:50.4％)を使用しており、食材全体使用量の66.6％(R1:66.3％)を占め、地場産品の使用割合は前年度より0.3ポイント向上した。 ただし、４月に新型コロナウイルス感染症対策により小・中学校が臨時休業となったことに伴い給食も７日間にわたって停止したため全体の使用量が若干減少した。 地場産品の安定供給を図るため、学校給食応援隊や関係機関との連携をさらに強化する。			本部会議		
							事務局会議		
							a		
実 施 計	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実施目標等	令和2年度		令和3年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	学校給食応援隊の活動推進	地元農家から給食の食材として地場産品を提供してもらう制度の確立	じゃがいも、玉ねぎ等 4,000kg	40	鶴田産野菜等使用量 3,365kg じゃがいも 536kg 玉ねぎ 488kg 長ねぎ 595kg 大根 257kg にんじん 977kg 長なす - kg パプリカ 27kg 白菜 210kg ミニトマト 147kg キャベツ 44kg ピーマン - kg アスパラ 14kg 小松菜 70kg	60	鶴田産野菜等目標使用量 4,000kg じゃがいも・玉ねぎ・長ねぎ・大根・にんじん・長なす・パプリカ・白菜・ミニトマト・キャベツ・ピーマン・アスパラ・小松菜・ほうれん草等	教育委員会

令和2年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

画	②	学校給食に地場産品の活用	米・りんご等の使用	米は「つがるロマン」を使用 11月からりんごを提供	0	米は、鶴田産「つがるロマン」を提供 9,057kg 大豆 48kg 豆腐 697kg 味噌 398kg りんご(無償) 2,650kg ぶどう(無償) 120kg	0	米は鶴田産「青天の霹靂」 「つがるロマン」を提供(学校給食会より)	教育委員会
	計				40		60		

令和2年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針			4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進							
ガイ ド ラ イ ン 項 目			(4)町長、関係機関及び関係団体が行う事業における、地場産品の積極的使用に関する事項							
ガイ ド ラ イ ン	・ 農業協同組合、あるじゃ、津軽ぶどう協会、各種農業団体等と連携し、地場産品のPRと販路拡大を推進する				実績				評 価	
					例年、町内外イベントにおいて、地場産品を賞品や材料として使用するとともに、特産品販売やPR活動による販路拡大と情報発信が図られているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。				本部会議	
									事務局会議	
									e	
実 施	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実施目標等	令和2年度		令和3年度		担 当 課	
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等		
	①	町内イベントでの地場産品の紹介	鶴の舞橋桜まつり	年 1 回開催		鶴の舞橋カラオケ大会 賞品 ※新型コロナウイルス感染症対策により中止	0	鶴の舞橋カラオケ大会賞品 ※新型コロナウイルス感染症対策により中止	企画観光課	
			町民文化祭の賞品に活用	年 1 回開催		※新型コロナウイルス感染症対策により中止。	0	55	スタンプラリーの賞品として、あるじゃの特産品を購入予定。	教育委員会
			フッドリバー市民と親しくする会、新年を祝う会等で紹介	年 3 回実施		※新型コロナウイルス感染症対策により中止。 （年 3 回実施） ・ フッドリバー市民と親しくする会（会予算） ・ 新年を祝う会 ・ イングリッシュデイ	0	286	年 2 回実施予定 ・ フッドリバー市民と親しくする会（会予算） ※ 新型コロナウイルス感染症対策により書面開催 ・ 新年を祝う会 ・ イングリッシュデイ（開催日時検討中）	企画観光課

令和２年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

計	②	町外イベントでの地場産品の紹介	県外物産展で紹介・販売	年 1 回参加	0	新型コロナウイルス感染対策により中止	381	年 2 回実施予定 ・青森人の祭典 ・さつまフェスタ	産業課
			ふるさと鶴田会総会・県庁鶴田会で紹介	年 2 回実施	0	新型コロナウイルス感染症対策により中止 (年 2 回実施) ・ふるさと鶴田会総会 ・県庁鶴田会	182	年 2 回実施 ・ふるさと鶴田会総会※新型コロナウイルス感染症対策により書面開催 ・県庁鶴田会 (開催日時検討中)	企画観光課
画	③	地場産品の販路拡大事業	スチューベンぶどう販路拡大トップセールス及び試食宣伝活動	年 3 回開催	14	年1回実施 副知事表敬訪問 1 回 ※首都圏におけるトップセールスは中止	1,893	年3回実施予定	産業課
			観光・物産資源PRキャンペーン	年 1 回参加	41	エージェント視察の際の試食及びJR列車内での配布	130	J R 秋田駅での観光キャンペーンの際の試飲、エージェント等試食	企画観光課
	計				55		2,927		

令和2年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針				5 食育推進の強化					
ガイ ド ラ イ ン 項 目				(1)食に関する様々な体験及び体感による学習の推進に関する事項					
ガイ ド ラ イ ン	・食に関する体験学習を実施			実績			評 価		
				・子どもと一緒にクッキングでは、食生活改善推進員の協力のもと、朝ごはんづくりの体験をすることで、その大切さを実感できる機会となっている。 ・教育ファームでは、地域の農家の方々のご協力のもと、小学校において米づくり、りんごづくり、野菜づくりなどの実際の農作業を経験し、収穫の喜びとともに食への知識向上を図った。			本部会議		
							事務局会議		
							a		
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実施目標等	令和2年度		令和3年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	子どもと一緒にクッキング	小中学校を対象に、朝ごはんづくりの体験教室を実施	年9回	50	6回204人 ※鶴中は3回計画したが、新型コロナウイルス感染症対策により中止	180	9回	健康保険課
	②	朝ごはん運動推進体験学習の実施(教育ファームの推進)	農業者の指導を受けながら農作業を体験	りんご栽培 学校給食用野菜栽培	0	りんごづくり(38人) 野菜づくり(28人)	105	「総合的な学習の時間」の中でりんご栽培と野菜栽培を行う	教育委員会
	計				50		285		

令和2年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針				5 食育推進の強化					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目				(2) 教育関係者の食育学習の推進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・ 1年に1回は学校保健会などが中心となり食育学習等の実施を目指す			実績				評 価	
				例年、成長期における睡眠の重要性ならびにしっかりと朝食をとることの大切さの理解を深めることを図っているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止とした。				本部会議	
								事務局会議	
								e	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実施目標等	令和2年度		令和3年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	食育学習についての研修・研究活動	小中学校・保育所等の情報交換及び推進のための方策研究	年4回実施	0	※新型コロナウイルス感染症対策により中止。	50	研修会 4回	教育委員会
計				0		50			

令和2年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針			5 食育推進の強化						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(3) 学校給食を通じた食育の推進に関する事項						
ガ イ ド ラ イ ン	・子どもの食に関する理解の促進と町の特色を生かした給食の提供を目指す			実績			評 価		
				・郷土食と行事食を合わせて11回実施。郷土食は、学校給食応援隊や関係機関と連携し、地場産品を使用している。 ・地元食材を活用した食に関する指導の実施。 ・下記の郷土料理や行事食を取り入れた献立の実施。 4月ー入学進級お祝い(お赤飯・お祝いミニケーキ) 6月ーふるさと産品の日(6月8日)鮫のにつけ・青森県産、鶴田町産の食材を使用 7月ー七夕(星形ハンバーグ・七夕ゼリー) 9月ー十五夜(お月見ゼリー) 10月ーハロウィン(かぼちゃコロッケ) 11月ーふるさと産品の日(スチューベンぶどう) 12月ークリスマス(クリスピーチキン・クリスマスデザート) 1月ー正月(けの汁、子和え、たら汁) 2月ー節分(福豆) 3月ー①ひなまつり(ちらしご飯・ひなあられ)・②卒業(すだちゼリー) 11月～2月ー鶴田産のりんごを毎食提供 ・新型コロナウイルス感染症対策により、11月開催予定の「ふるさと産品の日 交流給食会」を中止にした。また、青森県学校給食会主催の学校給食献立コンクールも今年度中止になった。			本部会議		
							事務局会議		
							a		
実 施 計	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実施目標等	令和2年度		令和3年度		担 当 課
					決算額(千円)	実 績 等	予算額(千円)	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	学校給食で郷土食、行事食メニューなどの実施	各小中学校を対象	年12回実施	0	郷土食と行事食を合わせて11回実施。6月8日と11月17日には「ふるさと産品の日」を実施。	222	郷土食と行事食12回実施 五所川原圏域市町特産デザートの提供 11月「ふるさと産品の日」交流給食会開催 鶴田御膳の献立を実施	教育委員会
	②	食に関する指導	各小中学校を対象に栄養教諭が食育の授業を実施	年30回実施	0	小中合わせて53回実施	0	小中合わせて50回実施	教育委員会
	③	学校給食への米粉パン供給	各小中学校を対象	月2回実施	0	月2回 小中学校へ提供 合計19回実施	0	月2回 小中学校へ提供 合計21回を予定	教育委員会

令和 2 年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

画	④	学校給食への麺の供給	各小中学校を対象	月 2 回実施	0	月2回 小中学校へ提供 合計22回実施	0	月2回 小中学校へ提供 合計21回を予定	教育委員会
	計				0		222		

令和2年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針				5 食育推進の強化					
ガイ ド ラ イ ン 項 目				(4) 国際交流による食育の推進に関する事項					
ガイ ド ラ イ ン	・ 外国の食文化を体験及び学ぶことで、米食文化の再認識を目指す			実績			評 価		
				例年、フッドリバー訪問前に国際交流員が調理した外国料理を中学生大使が実際に食し、外国食文化とテーブルマナーを体験しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、中止とした。			本部会議		
							事務局会議		
									e
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実施目標等	令和2年度		令和3年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	姉妹都市フッドリバー中学生親善訪問事業	外国の食生活を学ぶ	年1回実施 参加人員20人	0	※新型コロナウイルス感染症対策により中止。	52	フッドリバー訪問団員20人（7日間）	教育委員会
	計				0		52		

令和2年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針				6 米文化の継承					
ガイ ド ラ イ ン 項 目				(1)米の生産者と消費者との交流の促進に関する事項					
ガイ ド ラ イ ン	・ 生産者と消費者との情報交流の場の設定を目指す			実績			評 価		
				例年、町内でのイベントにおいて、消費者との交流が図られているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止とした。			本部会議		
							事務局会議		
							e		
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実施目標等	令和2年度		令和3年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	町内のイベントで地域産農産物等の紹介	各種イベント等における特産品の情報発信活動	随時実施	0	※新型コロナウイルス感染症対策により町民文化祭中止。	10	町の図柄の飾り巻き寿司公募	産業課
	計				0		10		

令和2年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針			6 米文化の継承						
ガイ ド ラ イ ン 項 目			(2) 伝統的な米文化の継承の推進に関する事項						
ガイ ド ラ イ ン	・ 伝統的な行事と結びついた米文化の知識や農具・器具等の伝承を目指す ・ 地域における伝統的な米食文化の継承を目指す			実績			評 価		
				これまで管内小学校児童を対象とした「米づくり体験」、「おにぎりづくり」、「餅つき」などを開催し、日本の伝統的な米文化と米を食することの重要性に関する継承の促進が図られてきたが、小学校の統合によりそれらの事業が見直され廃止となった。 今後は、地域学校協働活動及び総合的な学習の時間等を活用し、地域における伝統的な米食文化の継承ができる事業の実施に向けて検討していく。			本部会議		
							事務局会議		
							e		
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実施目標等	令和2年度		令和3年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	米文化の伝承事業	米料理の継承と米づくり体験を実施	米づくり・餅つき体験 鶴田小	0	※新型コロナウイルス感染症対策により三世代ふれあいまつり中止。	0	総合的な学習の時間等を活用し米作り及び餅つき体験の実施に向けて検討。	教育委員会
	②	歴史文化の伝承事業	米料理、伝統料理の継承と古民具の展示	鶴田町歴史文化伝承館の活用	0	※新型コロナウイルス感染症対策により4月～5月は利用中止。6月～11月まで2階展示室にて古い農具や民具を展示。	0	4～11月まで2階展示室にて古い農具や民具を展示。	教育委員会
	計				0		0		
			合 計		48,421		63,169		